

【選 評】

＜調和体＞

総 評

➤選々位

このクラスは特に臨書活動が行き届き、応用の利く表現が多くなった。

➤師範

全体のレベルも上がっています。日頃の錬磨に敬服します。

➤準師範以下

出品数が少ない中ですが、丁寧な書きぶりが多く、今後が楽しみです。

＜実用の書＞

総 評

きれいな作品が多く、甲乙付けがたかった。字の中心や配置に気をつけて、作品作りをしてください。

最優秀作品

◇辻 洋虹

行の流れや線のキレ味で魅了される。

◇中田 光風

文字の位置とカスレ美が良い。

◇落川 富美子

流れと墨の変化が美しい。

◇梅田 花秀

丁寧な書きぶりが目を引きます。

◇仁賀 英子

全体の字配りと線の強さに魅了されます。

◇西尾 恵子

肉太で重量感ありながら余白が美しい。

最優秀作品

◇松宮 公子

太さのあるどっしりとした字でバランスよく書けている。起筆、終筆までしっかり意識できている素晴らしい作品。

＜審査員＞

西川桂邨 北川幾美 駒井高樹 小川敬子 饗庭啓良 鈴木天雷

＜お知らせ＞

- ・9月号は「臨書、短歌・短文」の提出月で、締切りは9月25日です。
- ・10月号は「調和体、実用の書」の昇段審査の月になりますので、ご注意願います。